

日本福祉大学

山形最上オフィス通信

第13号 発行日：2014年6月14日

日本福祉大学創立から60年 卒業生は76,000名超へ

3月15日、美浜キャンパスにて学位授与式が行われました。2013年度は、日本福祉大学創立60周年の記念すべき年にあたります。後輩たちに見送られながら、今年は通学課程1,204名、通信教育部1,752名、大学院82名の、計3,038名が卒業しました。東北地域からは、青森県1名、岩手県2名、宮城県3名、秋田県2名、山形県4名、福島県2名の合わせて14名が、学んだ知識と経験を活かす道への第一歩を踏み出しました。

二木学長は、式辞の中で、「今や世界一の長寿国となっている日本は、今後確実に、人口減少・超少子高齢社会に突入することを考えると、自身の生活と日本社会を維持するためにも、日本福祉大学で学んだことを基礎にして、大学卒業後も生涯、勉強・学習し続けることが必要です。」と語りかけ、「これからの長い人生と長い勤務年限を有意義に過ごし、今持っている様々な夢や希望を着実に実現するとともに、社会にもしっかりと貢献することを期待します。」とエールを送りました。



目次

- 1) 学位授与式・入学式
- 2) 新入生の集い
- 2) 在学生インタビュー
- 3) エッセイコンテスト
- 3) 60周年記念行事
- 3) 日本福祉大学ニュース
- 3) 山形県地域同窓会
- 4) イベント情報



「ふくしの総合大学」での第一歩 社会貢献への決意を誓う

4月1日、美浜キャンパスにて入学式が行われました。入学式は2部制となっており、午前の部は大学院・社会福祉学部・国際開発福祉学部、午後の部は経済学部・子ども発達学部・健康科学部と分かれて開催されました。

今年は学部生1,228名、編転入学生26名、大学院生101名の、計1,374名の新入生が希望を胸に大学の門をくぐりました。東北地域からは、青森県2名、岩手県3名、宮城県3名、秋田県3名、山形県1名、福島県2名の合わせて13名が入学し、これから4年間それぞれの目標に向かって励んでいきます。

二木立学長は、設立から少しずつキャンパスと学部を増やし、《「地域に根ざし、世界を目指す「ふくしの総合大学」》に成長してきたことを説明した上で、「講義やゼミでしっかり学びつつ、サークル活動やフィールドワーク、ボランティアにも積極的に参加し豊かな学生生活を送ってほしい。」と式辞を述べられました。

午前の部では、岩手県出身の城内秀学さん(社会福祉学部/写真中央)が新入生代表の言葉として東日本大震災での被災経験を語り、幅広い知識を身につけ、積極的に活動に参加していくことで社会に貢献したいと、決意を表明しました。

東北県人会や半田キャンパスで開催された「新入生の集い」

全国各地から学生の集まる本学では、各地域毎に出身学生と教職員で構成されている「県人会」があります。学年や学部を越えた、アットホームな集いです。

4月2日、各県人会にて一斉に「新入生と在在学生による集い」が開催され、東北県人会では10名の学生が参加しました。新入生はやはり最初は緊張気味でしたが、会が進むにつれ会話も弾み、和気あいあいと親睦を深めていました。



また、5月12日には半田キャンパスでも新入生の集いが行われました。各地域ブロックセンターの職員が、地方出身の学生への

支援をさらに深めていこうと計画した、初の試みです。こちらは「県人会」とは違い、東海4県以外の地方出身の新入生を対象に開催されました。

今回の「ランチタイムパーティー」には新入生・在在学生合わせて16名が参加し、信州の旬の味覚を堪能しながら学生同士・職員と交流を深めました。

愛知にいなながらも、地元・東北を意識して大学生生活を過ごしていきましょう。



在学生インタビュー 「特別支援学級への偏見をなくしたい」その思いは夢につながる

最初はホームシックにもなりましたが、一人暮らしにも慣れました。水道水があまり口に合わず、ちょっと苦労しました。美浜は秋田と雰囲気あまり変わらなくて過ごしやすいです。すぐに友だちもでき、下宿先のアパートでは隣の部屋の社会福祉学部の子と仲良くなりました。

サークルは、美浜近辺に住んでいる障害者の方と交流をする「どんぐりの家」と「Ⅱ部バドミントン」等に所属しています。

高校の授業と違って、大学の90分の講義はまだ長く感じます。現在は、実験臨床データに基づいた研究結果や、問題をいくつ答えられたかに基づいて子どもの精神年齢や行動年齢を算出するビネー式など、臨床心理学を楽しく学んでいます。

大学では、特別支援学校教諭の資格を取得したいです。もともと祖父母が障害者とかかわる仕事をしていて、私が幼いころ、祖母が休日に行っていたボランティア活動についていった際に、私も障害者の方々と関わりたいいなと思ったのが興味を持ったきっかけです。

また、通っていた小学校が特別支援学級と一般学級にわかれていたのですが、一般学級の中には特別支援学級を嫌がる子もあり、「お互いに関わる機会がないせいで偏見がうまれている」と感じ、それをなくしたいと思い目指すようになりました。高校の先生から詳しい話を聞いて、日本福祉大学をより深く知りいいなと思い選びました。卒業後は地元に戻ろうと思っています。やっぱり秋田が一番です！

障害者だけでなく、これからの日本にとって「福祉」は重要な意味をもってきます。福祉を目指す高校生には、意識を高くもってがんばってほしいなと思います。

子ども発達学部 心理臨床学科 障害児心理専修 1年 宮野 真唯奈さん (大館国際情報学院高校出身)



高校生福祉文化賞エッセイコンテスト

高校生に福祉を見つめなおしてもらうことを願って、日本福祉大学と朝日新聞社が主催の「高校生福祉文化賞エッセイコンテスト」が2003年度から行われています。第11回では、応募総数9,152点のうち東北から1,136点もの応募があり、青森県の高中生2名の作品が優秀賞に選ばれました。

第一分野 人とのふれあい 優秀賞「ふる友！」 青森県立三本木高校 二年 小山 温さん

第三分野 わたしが暮らすまち 優秀賞「『てんでんこ』を越えて」 青森県立八戸西高校 二年 下館 龍也さん

いきつけの温泉で、南部訛りで話しかけてくるおばちゃんたちとの交流が描かれている「ふる友！」と、震災時に「てんでんこ」に逃げるしか方法がない弱い人間だからこそ、その前にやるべきことがあると訴える「『てんでんこ』を越えて」は入賞作品集でご覧いただけます。

また、今年度の第12回も7月31日まで募集しています。身近な体験を通して感じた「ふくし」への思いをエッセイにまとめてご応募ください。

過去の入賞作品集や第12回の応募用紙をご希望の方は、オフィスまでご連絡ください。(学年は当時の学年で現在は三年生です)



60th Anniversary

学園創立60周年記念 行事が行われました

学園創立60周年を迎えた日本福祉大学では、2013年度から2015年度の3ヶ年にわたり、「60周年記念事業」を推進しています。記念事業の一環として、6月7日は記念講演会が開催されました。コミュニティソーシャルワークの基本的な視座と可能性について学ぶ講演やトークセッションが行われ、本学の学生や福祉関係者等、約500名が参加し、立ち見が出るほどの大盛況となりました。

翌8日には記念式典も開催され、友好協力宣言を締結している最上町からは田中副町長等が出席し、他の連携自治体の方々と交流を深めました。

◆日本福祉大学ニュース◆

▶社会福祉士国家試験開始以来、現役合格者数が26年連続で第1位となりました。

▶通信教育部で幼稚園教諭・保育士資格取得の特例対応プログラムがスタートしました。

▶角野栄子客員教授が旭日小綬章を受章されました。

「魔女の宅急便」の原作者で作家の角野教授が受章した「旭日小綬章」とは、教育や文化、科学、スポーツ等で高く評価される功績を残した者を対象に贈られるものです。



山形県地域同窓会総会・集いの会開催のお知らせ

2014年7月12日(土)開催
日本福祉大学セミナー・山形県地域同窓会集いの会
大学セミナーに出席 欠席
大学近況報告に出席 欠席
同窓会総会に出席 欠席
集いの会に出席 欠席
※出欠は、に✓をご記入ください。

氏名: (旧姓)

同窓会ID:

(変更のある方は、記入ください)

郵便番号:

住所:

電話番号:

E-Mail:

近況等をお寄せください。

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

山形県地域同窓会では、再建に向けた「実行委員会」を結成し、総会ならびに集いの会開催のために話し合いを行ってきました。集いの会では「タイムスリップthe学生」をメインスローガンとし、年代問わず楽しめる内容を考え、準備を進めています。

今年は、日本福祉大学セミナー終了後に開催します。ぜひ文化講演会(※裏面参照)から合わせてご参加ください。同窓生同士が知り合って仲良くなり、語りあって交流を深め、楽しいひとときを過ごしましょう。

**開催日: 2014年7月12日(土)**

**会場: 山形県JAビル9階 大会議室**

**内容: 15:30 ~ 16:00 山形県地域同窓会総会**

**16:00 ~ 17:30 集いの会 / 茶話会懇親会**

**参加費: 無料**



▲出欠ハガキは6月22日までご返信ください。

## イベント情報

## 東北地区進学相談会

学部の詳細や就職実績など大学の最新情報をお届けするほか、学生生活や入試に関する質問、奨学金の相談など様々な内容に対応いたします。保護者の方や先生のご参加も大歓迎です。

- 6月17日(火)15:30～18:00 アルヴェ  
 6月24日(火)15:00～18:00 仙台サンプラザホール  
 7月12日(土)14:00～16:00 いわて県民情報交流センター  
 7月13日(日)14:00～16:00 ハーネル仙台  
 8月 2日(土)14:00～16:00 青森国際ホテル  
 8月 3日(日)14:00～16:00 秋田市にぎわい交流館AU



- ★学年不問
- ★事前申し込み不要
- ★時間内入退室自由

## オープンキャンパス2014

- ◎在学生在ガイドとなる「**在学生によるキャンパスツアー**」
  - ◎各学部の先生たちによる「**テーマ別体験講義**」
  - ◎卒業生が仕事の体験談をお話する「**しごと体験講座**」
  - ◎試験突破のポイントを伝授する「**入学試験対策講座**」
- など、キャンパスの雰囲気を感じることができる絶好のチャンス！ぜひご参加ください！
- ※7月20日・8月17日は部活動をしている生徒のためのサークルオープンキャンパスも同時開催します。

## 美浜キャンパス 半田キャンパス

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 5月25日(日)  | 6月15日(日)  |
| 7月20日(日)  | 7月27日(日)  |
| 8月17日(日)  | 8月23日(土)  |
| 10月12日(日) | 10月12日(日) |

## 日本福祉大学セミナー

## 「支え合い、共に生きる地域をつくるー住民の可能性と専門職の力ー」

講師：小松 理佐子先生（日本福祉大学 社会福祉学部長補佐、教授）

「自分の家で、暮らし続けたい」ーこれは、誰もが思っていることです。そして、暮らし続けることは、当たり前のことだと感じている人も少なくないでしょう。ところが今日の日本では、過疎化と高齢化が同時に進行し、自分の家で暮らし続けることの出来ない地域が少なくありません。本セミナーでは、地域で起きている様々な生活課題を共有しながら、「暮らし続けたい」という思いを実現するための地域づくりについて、住民の可能性と専門職の役割と視点から考えます。

開催日：2014年7月12日(土)

会場：山形県JAビル大会議室

- 内容：12:30～ 受付開始  
 13:00～14:20 文化講演会  
 14:30～15:15 大学近況報告  
 15:15～17:00 相談会



開催日1週間前を目安に、下記の方法でお申し込みください。

- ①チラシ裏面に必要事項を明記しFAX
  - ②日本福祉大学後援会Webサイト
- ※応募者多数の場合は先着順となります

【お問い合わせ・参加申込先】

日本福祉大学後援会事務局

TEL:052-242-3045 FAX:052-242-3046

## 日本福祉大学 山形最上オフィス

〒999-6101 山形県最上郡最上町大字向町674 最上町立中央公民館内

電話：0233-43-9232 メール：yamagatabc@ml.n-fukushi.ac.jp